

授業科目 基礎理学療法学実習

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	理学
高木 昭輝 ほか助手 2 名		開講時期	後 期	必修・選択	必 修
		単位数	2単位	時間数	6 0 時間
＜一般目標：G I O＞					
理学療法学の定義、歴史、理念、対象を説明できる。					
関節可動域、筋・神経機能と理学療法の関係の説明を自分や学生同士の身体を利用して表現・説明することができる。					
＜行動目標：S B O＞					
1 理学療法を開始するとき、終了するとき関係者と適切にコミュニケーションを図ることができる。					
2 理学療法学における評価と治療計画の決定過程の説明を自分の身体を使って表現できる。					
3 理学療法における治療の実施とリスク管理、治療方針の修正の説明を自分の身体を使って表現することができる。					
4 理学療法の効果の説明を自分の身体を使って表現できる。 拘縮の原因と関節可動域運動を説明することができる。					
5 神経・筋の機能と機能障害回復学と理学療法学との説明を自分の身体を使って表現できる。					
6 一般的、基礎的レベルで機能障害と姿勢との関連を説明することができる。					
7 理学療法学と運動制御・運動学習またバイオメカニクスとの関係を自分の身体を使って説明することができる。					
8 理学療法における一般的なリスク管理を説明することができる。物理療法を体験する。					
回数	授業計画又は学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	患者さん（さま）と接するとき。			1	教員の説明と演示。学生同士での体験。
2	初めて接する患者さん（さま）への態度、自己紹介から、終了するまで。			1	教員の説明と演示。学生同士での体験。
3	理学療法の実施			1	理学療法の実施
4	（ビデオでの事例を見る、診る？）。治療へのプロセスを考え、協議する。			2, 3	教員の説明と演示。学生同士での体験。
5	トップダウンとボトムアップ、ブレイク・スルー			1	教員の説明と演示。学生同士での体験。
6	理学療法における評価（理学療法的診断）から治療プラン作成へ			2, 3, 4	教員の説明と演示。学生同士での体験。
7	関節可動域運動の問題について 1 （種々なアプローチ）			5	教員の説明。学生間の協議
8	関節可動域運動の問題について 2 （種々なアプローチを検討する）			5	教員の説明。学生間の協議
9	筋力の問題（筋萎縮、筋力低下：筋緊張を含む）への種々なアプローチ 1			2, 3, 4, 5, 6	教員の説明。学生間の協議
10	筋力の問題（筋力増強、持久力改善）への種々なアプローチ 1			2, 3, 4, 5, 6	教員の説明。学生間の協議
11	感覚神経、運動神経、自律神経の問題への種々なアプローチ 1			5	教員の説明。学生間の協議
12	感覚神経、運動神経、自律神経の問題への種々なアプローチ（筋緊張を含む）			2, 3, 4, 5, 6	教員の説明。学生間の協議
13	感覚神経、運動神経、自律神経の問題への種々なアプローチ（筋緊張を含む）			2, 3, 4, 5, 6	教員の説明。学生間の協議
14	姿勢を考える。 1 バイオメカニクス			2, 3, 4 5, 6, 7	教員の説明。学生間の協議
15	姿勢を考える。 1 姿勢制御			2, 3, 4, 5 6, 7	教員の説明。学生間の協議
16	運動制御・運動学習を考える 1			2, 3, 4, 5 6, 7	
17	運動制御・運動学習を考える 2			2, 3, 4, 5 6, 7	
18	物理療法を体験する。 1			2, 3, 4, 5 6, 7, 8	教員の説明と演示。学生同士での体験。
19	物理療法を体験する。 2			2, 3, 4, 5 6, 7, 8	教員の説明と演示。学生同士での体験。
20	理学療法に関する倫理、法規、業務管理			2, 3, 4, 5 6, 7, 8	教員の説明。学生間の協議
21	期末テスト				総括的試験
【使用図書】		＜書名＞ ＜著者名＞ ＜発行所＞ ＜発行年・価格・その他＞			
教科書		理学療法の捕らえ方-clinical reasoning-：奈良 勲編集：文光堂：2001年：4800円＋税（予定）			
参考書		リハビリテーション基礎医学第2版：上田敏、千野直一、大川嗣雄編集：医学書院：1999年：11,000円（予定） 疼痛のとらえかた 理学療法MOOK 3 鈴木重行、黒川幸雄編集：三輪書店：1999年：3800円＋税（予定）			
その他の資料		カラーで学ぶ解剖生理学：州崎悦子 他 訳：医学書院：1998年：5600円＋税（予定）			
【評価方法】		【履修上の留意点】			
期末試験、授業貢献度、発表などを総合的に評価する。		授業に対して受身にならないで積極的に参加し、質問してほしいと思います。			